

2025年度 卒業時における学修成果に関するアンケート

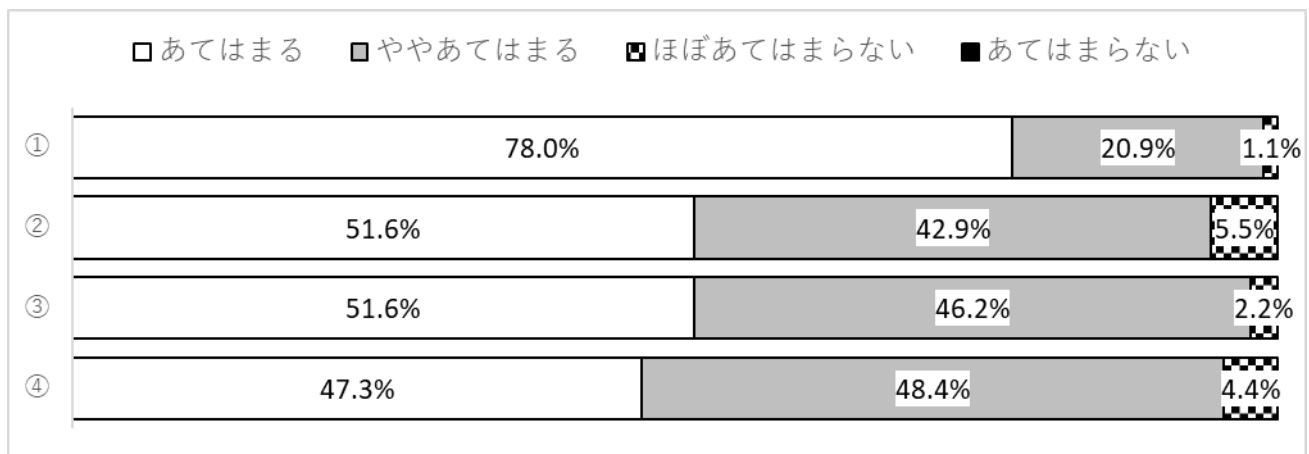
実施日：2026年1月

回答者：M6 91名（回答率95.8%）

1 各項目における自己評価

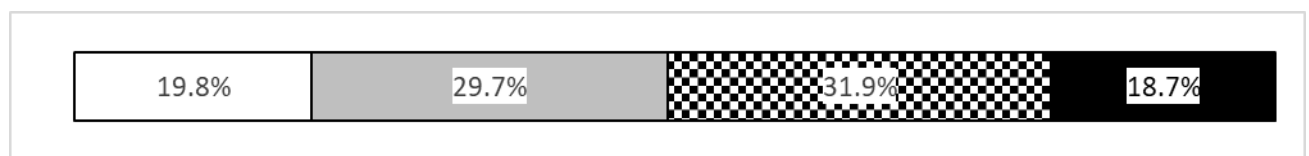
1.1 理念について

- ① 本学の理念である「智仁勇」について知っている
- ② 「智」すなわち医学的知識と技能を習得することのみならず、効果的な学修のためのアルゴリズムを獲得し、生涯にわたる自学自習を開始できる
- ③ 「仁」すなわち人を分け隔てなく、温かく受け入れる心を身につけ、国際的視野を持ち、人類に貢献する高い志を習得している
- ④ 「勇」すなわち科学的思考に基づいた判断力・問題解決能力を身につけ、修得した医学を実践する決断力を習得している



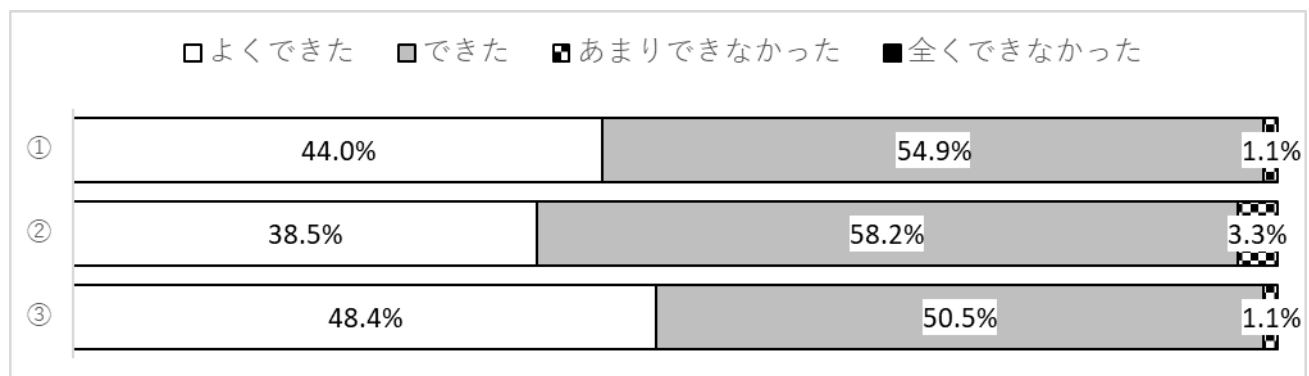
1.2 卒業時コンピテンスについて

本学の学習成果/卒業時コンピテンスについて知っている



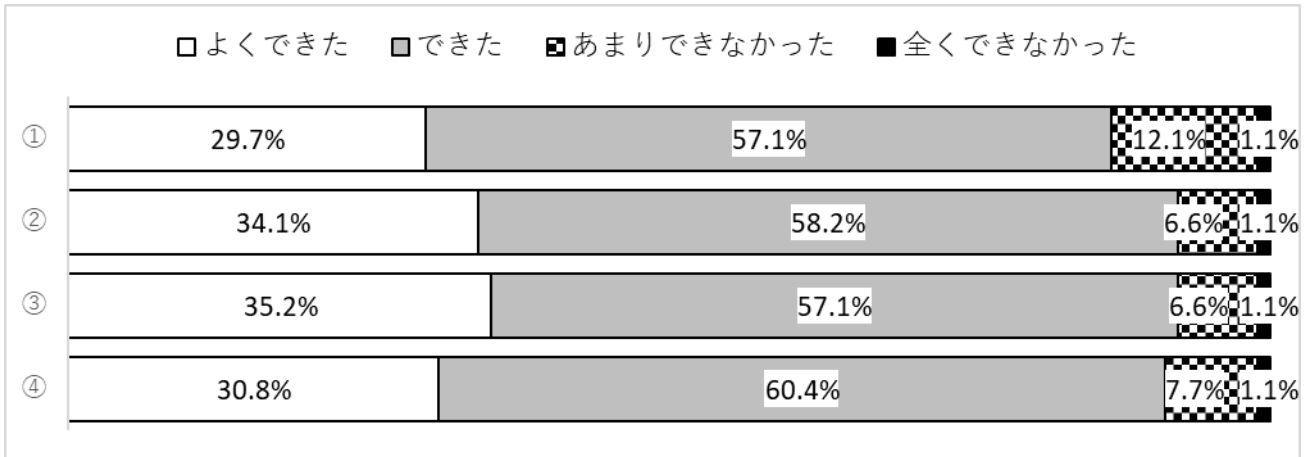
【プロフェッショナリズム】

- ① 患者および家族のニーズを認識し、患者中心の医療を提示、実践することができる
- ② 医療専門職として社会における自己の役割を理解し、継続的に学修することができる
- ③ 高いモラルを持ち、品性のある行動をとることができる



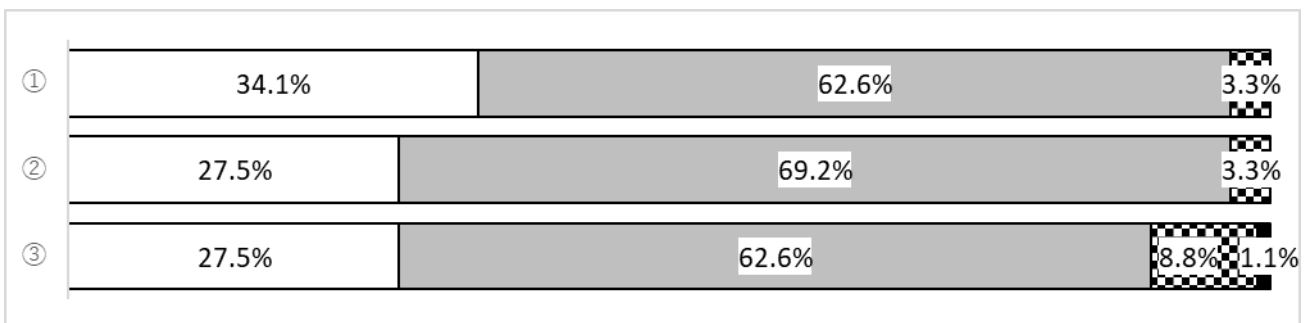
【医学知識と問題対応能力】

- ① 診療や研究の基盤となる基礎医学の領域の基礎的知識を修得し、応用することができる
- ② 診療や研究の基盤となる臨床医学の領域の基礎的知識を修得し、応用することができる
- ③ 診療や研究の基盤となる社会医学の領域の基礎的知識を修得し、応用することができる
- ④ 医療の基盤である生命科学、行動科学などの関連領域の知識と原則を理解し、医療の現場で実践することができる



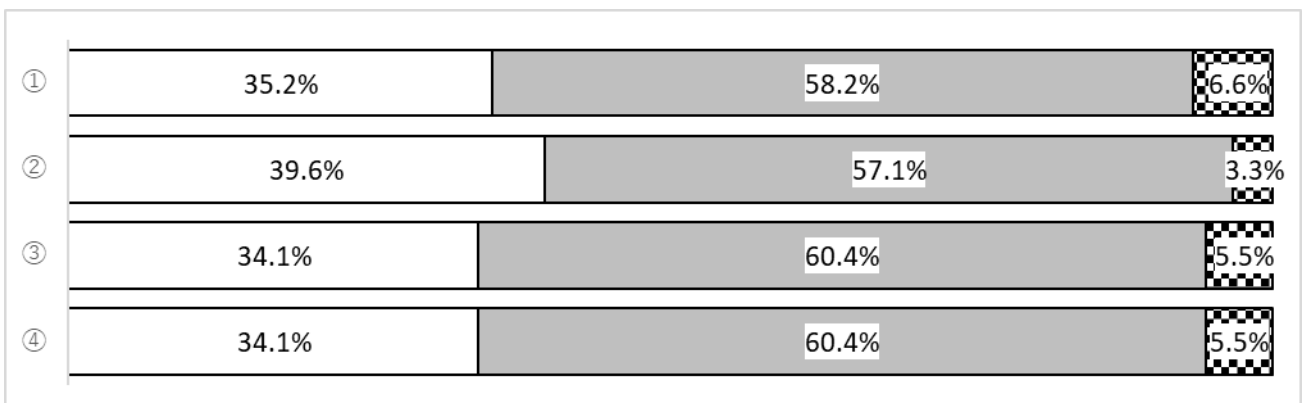
【診療技能と患者ケア】

- ① 論理的で体系的な医療面接、身体診察を行うことができる
- ② 頻度の高い疾患に関して、適切な鑑別診断と治療戦略を立てることができる
- ③ 基本的な臨床手技や緊急救命処置を安全に実践することができる



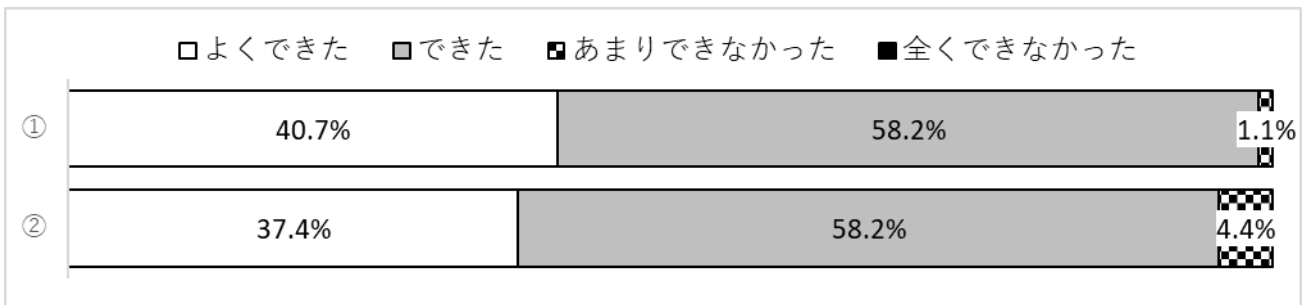
【コミュニケーション能力】

- ① 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援することができる
- ② 患者や家族の抱える問題を身体・心理・社会的側面から把握することができる
- ③ 適切な症例プレゼンテーションを行うことができる
- ④ 患者の状態について、報告・連絡・相談ができる



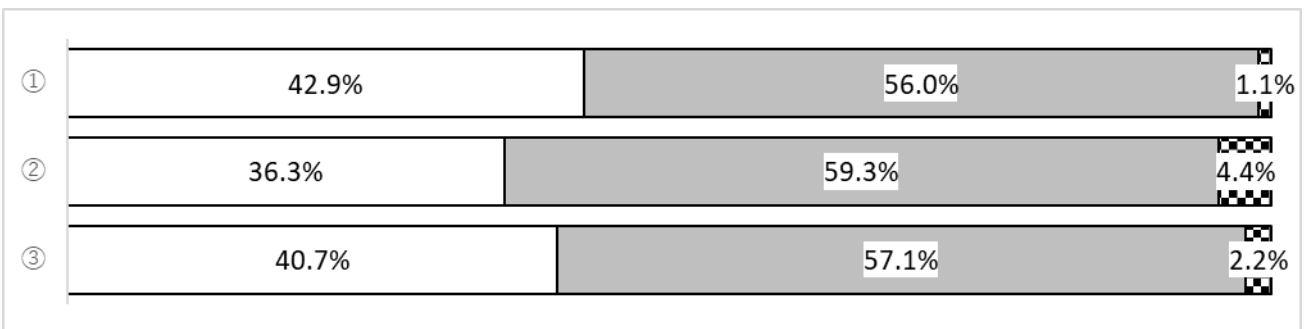
【チーム医療の実践】

- ① 医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する
- ② チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る



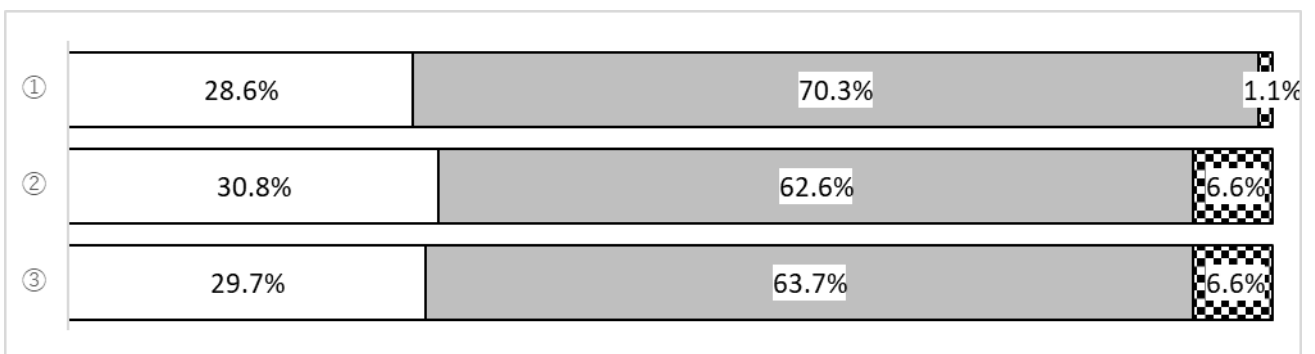
【医療の質と安全の管理】

- ① 医療の質と患者安全の重要性を理解する
- ② 医療事故等の予防と事後の対応を知る
- ③ 医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む）を理解し、自らの健康管理に努める



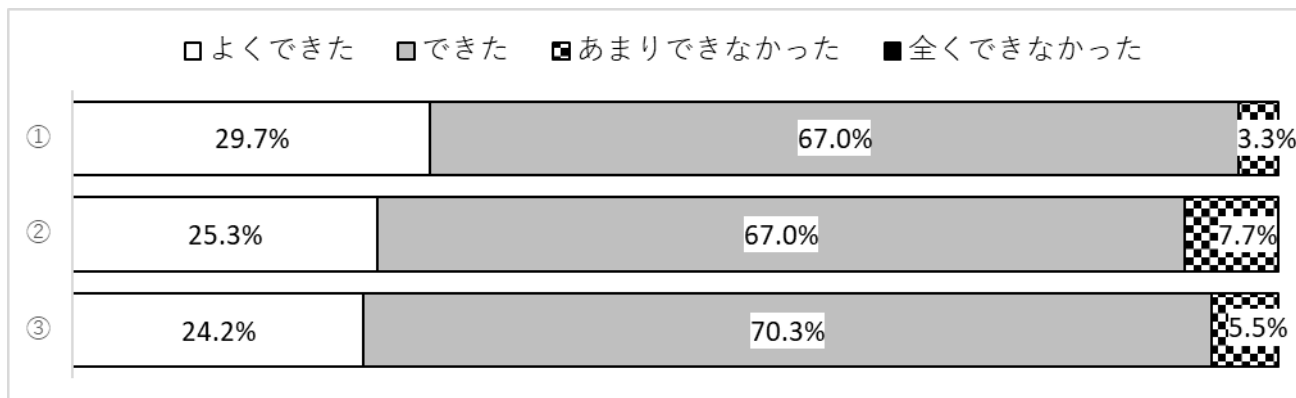
【社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力】

- ① 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する
- ② 大阪の地域医療に携わり、指導/監督のもと診療に参加できる
- ③ 大阪の医療の現状、課題を理解する



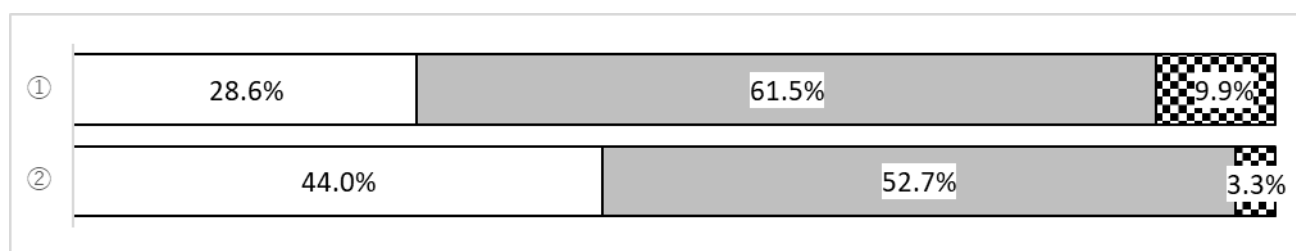
【科学的探究】

- ① 医学及び医療上の疑問点を挙げることができ、適切にエビデンスを収集できる
- ② 科学的研究方法を理解する
- ③ 研究の意義を理解し、参加、協力できる



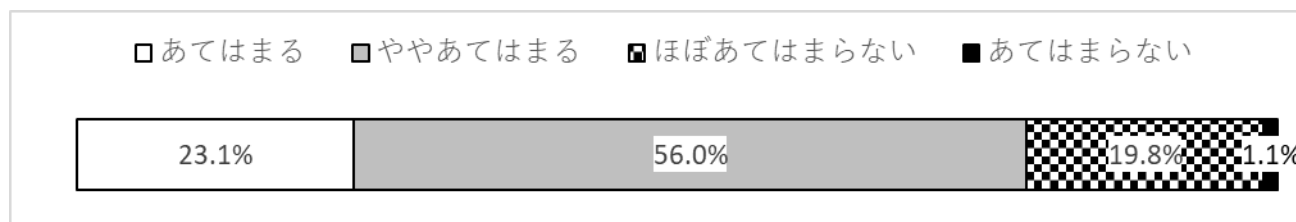
【生涯にわたって共に学ぶ姿勢】

- ① 国際的な広い視野をもち、急速に変化・発展する医学知識を学び、吸収できる
- ② 同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあうことができる



1.3 総合評価

明日から、医師として働く自信がある



2 大学生活を振り返って

2.1 6年間の大学教育でもっともよかったと思うこと（複数回答のものを掲載）

- ・臨床実習(20)
- ・実習が充実していること(13)
- ・進級のしやすさ(6)
- ・比較的自由な時間が多かったこと(5)
- ・修業実習(3)
- ・医学を学べたこと(3)
- ・SSC がとても充実していたこと(3)
- ・学業と部活動の両立ができたこと(3)

- ・ユニット型 OSCE(2)
- ・自主性を重んじる学風(2)
- ・同級生や実習班での交流(2)
- ・様々な繋がりができたこと(2)
- ・智仁勇のどの面に対してもしっかり教えていただいたこと(2)
- ・自分のやりたいことにチャレンジできる環境、設備があったこと(2)

2.2 6年間の大学教育でもっとも改善すべきだと思うこと（複数回答のものを掲載）

- ・グループ学習室が足りない、24時間使えない(9)
- ・英語教育(4)
- ・設備(3)
- ・試験の問題や解答を公開してほしい(2)
- ・実習や授業の日程を早い段階で定めてほしい(2)
- ・基礎医学のレベルをもう少し下げてください(2)
- ・特になし(44)

2.3 6年間の大学生活で何を得たか（複数回答のものを掲載）

- ・基本的な医学的知識(33)
- ・コミュニケーション能力(18)
- ・友人(9)
- ・人とのつながり(7)
- ・医師になるための心構え(7)
- ・体力(5)
- ・先生や先輩後輩とのつながり(5)
- ・智仁勇(3)
- ・協調性(3)
- ・スキル(3)
- ・学び続ける姿勢(3)
- ・実践力(2)
- ・人間力(2)
- ・向上心(2)
- ・広い視野(2)
- ・人生の目標(2)
- ・自己管理能力(2)
- ・患者との接し方(2)

3 目指す将来像（複数回答のものを掲載）

- ・信頼される医師(16)
- ・患者やその家族に寄り添える医師(14)
- ・思いやりがある医師(9)
- ・臨床能力のある医師(5)
- ・立派な医師(4)

- ・ チーム医療を推進できる医師(4)
- ・ 医師(3)
- ・ 楽しい人生(3)
- ・ 地域に貢献できる医師(3)
- ・ 智仁勇を兼ね備えた医師(3)
- ・ 病ではなく人を診る医師(3)
- ・ 社会に貢献する医師(2)
- ・ 全力で医療に貢献する(2)
- ・ 自分が診てもらいたい医師(2)
- ・ 患者様や他の医療者と適切にコミュニケーションを取り、適切な診療を行える医師(2)
- ・ 未定(3)